



大会旗引継ぎ授与式

Contents

02 トピックス

- ・災害取り組み状況（梅雨前線・台風10号）
- ・第46回全国土地改良大会が開催される
- ・大分県農業農村整備事業推進協議会が要望活動を実施

04 会議・要請活動

- ・大分県管理運営体制強化委員会及び受益農地管理強化委員会を開催
- ・令和6年度第1回監事会・監査並びに理事会を開催
- ・大分ため池技術研究会が総会・研修会を開催
- ・令和6年度大分県多面的機能支払推進協議会通常総会を開催
- ・大分県農業農村整備事業推進協議会協議調整部会が開催される

09 インフォメーション

- ・令和6年度土地改良施設維持管理適正化事業説明会を開催
- ・令和6年度農業土木技術研修会及び大分県農村振興技術連盟総会の開催
- ・おおいた水土里ネット女性の会 令和6年度総会を開催
- ・令和6年度大分県畑地かんがい施設対策推進協議会現地研修会を開催
- ・令和7年度農業農村整備事業関係予算の概算要求について
- ・タブレットによる現地確認業務
- ・令和6年度土地改良役職員研修会
- ・大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2024

10

2024
October

災害取り組み状況（梅雨前線・台風10号）

令和6年7月の梅雨前線豪雨に加え、台風10号の影響による線状降水帯の発生により、8月28日から31日にかけて県内各地は未曾有の豪雨に見舞われた。特に由布市、別府市、杵築市、豊後高田市、国東市において記録的な大雨が続き、農地や農業用施設3,781箇所が甚大な被害を受け、その被害額は総額97億円に上る。これを受け、大分県土地改良事業団体連合会では市町村や土地改良区からの要請に応え、災害等緊急対策委員会を立ち上げ、各課が連携した強固な支援体制を整えた。9月中旬からは重要施設である頭首工の被害額調査を開始し、10月以降は被害件数の多い北部管内900件（1,173工区）を重点的に支援すべく、大分県、市町村、支援コンサルタントとの連携を一層強化し、年内の査定完了を目指して迅速に対応を進めていく。



由布市災害状況



杵築市災害状況



国東市災害状況

大分県内被害状況（台風10号・9月豪雨①）

管内	市町村名	被害件数			災害査定申請件数			
		農地	施設	計	農地	施設	計	工区数
北部	国東市	155	153	308	50	102	152	176
	姫島村	—	—	—	—	—	—	—
	別府市	135	49	184	99	34	133	240
	杵築市	290	250	540	213	187	400	480
	日出町	12	9	21	9	2	11	11
	中津市	9	20	29	4	2	6	8
	豊後高田市	95	161	256	42	72	114	129
	宇佐市	209	144	353	60	24	84	129
	計	905	786	1,691	477	423	900	1,173
中部	大分市	121	89	210	51	15	66	89
	津久見市	1	3	4	—	2	2	2
	臼杵市	41	11	52	25	5	30	32
	由布市	848	297	1,145	435	135	570	834
	計	1,011	400	1,411	511	157	668	957
南部	佐伯市	14	2	16	4	2	6	6
	竹田市	155	83	238	125	65	190	216
	豊後大野市	250	96	346	198	68	266	273
	計	419	181	600	327	135	462	495
西部	日田市	14	12	26	7	1	8	8
	九重町	7	5	12	6	1	7	8
	玖珠町	28	13	41	20	7	27	30
	計	49	30	79	33	9	42	46
合計		2,384	1,397	3,781	1,348	724	2,072	2,671

大分県防災班資料より

第46回全国土地改良大会が開催される

10月22日（火）、第46回全国土地改良大会千葉大会が千葉県千葉市の幕張メッセ幕張イベントホールで開かれた。大会は「ふさの国から 飛び立て 水土里の恵み 力強く 未来に繋ごう 水土里の礎」をテーマに、全国の土地改良関係者約4千人が参加し、農業を支える農地と水を守り育む、土地改良の役割を語り合った。大分県からは、義経会長を団長に、本会並びに会員改良区等より45名が参加した。



式典では、開催県である塚瀬一夫千葉県土地改良事業団体連合会副会長より開会挨拶。

続いて、主催者挨拶では、全土連の二階俊博会長が、「この地は地形的に水に苦しめられる歴史があり、照れば湯水、降れば冠水という、大変厳しい農業環境におかれていました。先人たちは、壮大な戦いを続けて水と土と基盤を創り上げてきました。現代では、首都圏の食料基盤とする全国でも有数の農業産出額を誇る農業県を築き上げていただいています。本日、ご参加の皆様と土地改良が創り上げた水土里の礎を改めて再認識して未来に引き継いでいくことをお互いに誓い合いたいと思います」と挨拶した。その後、熊谷俊人千葉県知事、神谷俊一千葉市長（代読：橋本直明副市長）の歓迎のことば、来賓として小里泰弘農林水産大臣（代読：青山健治農林水産省農村振興局次長）、桜田義孝前衆議院議員、宮崎雅夫参議院議員、進藤金日子参議院議員より祝辞があった。

続いて行われた土地改良事業功績者表彰では、全国土地改良事業団体連合会会長表彰を石河内溜池土地改良区 板井俊作理事長が表彰された。

大会旗引継ぎでは、全土連副会長である義経会長が、森英介千葉県土連会長より受け取った大会旗を、次期開催県の田島健一佐賀県土連会長へ手渡した。

次回第47回大会は、令和7年10月15日（水）に佐賀県佐賀市「SAGAアリーナ」での開催が決定している。



全国土地改良事業団体連合会 会長表彰を受賞した板井理事長（左）
水土里ネット大分 義経会長（全土連副会長）（右）



大会旗引継ぎ
水土里ネット千葉 森会長（左）
水土里ネット大分 義経会長（全土連副会長）（中）
水土里ネット佐賀 田島会長（右）

大分県農業農村整備事業推進協議会が要望活動を実施

大分県農業農村整備事業推進協議会（会長 是永修治宇佐市長）は、10月8日（火）九州農政局において「農業農村整備の推進について」要望活動を行った。

北林農政局長をはじめ幹部職員と面談し、要望活動について理解を求めた。

また、細井農村振興部長ほか関係担当課長に要望内容を説明し意見交換を行った。

その後、宇佐市の緊急農地再編整備事業、並びにかんがい排水事業「駅館川地区」の両推進協議会が国営事業について要望活動を行い、来る11月7日（木）～8日（金）には、財務省、農林水産省、関係国会議員へ同様の要望活動を実施することとしている。



北林農政局長へ要望書提出



細井農村振興部長へ要望書提出



幹部との意見交換の様子

会議・要請活動

大分県管理運営体制強化委員会及び受益農地管理強化委員会を開催

令和6年7月24日（水）に令和6年度の「大分県管理運営体制強化委員会」及び「受益農地管理強化委員会」を開催し、九州農政局の新開土地改良管理課長をはじめ、県、市、改良区、法務局から委員の皆様にご出席いただきました。

委員会では、加藤委員長（水土里ネット大分常務理事）の挨拶の後、令和5年度事業報告並びに決算、令和6年度事業計画（案）並びに予算について審議され、いずれも承認された。委員会で協議された意見を今後の体制強化事業の運営に反映させていく。



管理運営体制強化委員会



受益農地管理強化委員会

●令和6年度第1回監事会・監査並びに理事会を開催

7月25日（木）、令和6年度第1回監事会・監査を開催した。監事会では、年間の実施計画として10月に中間監査と補正予算の審議、1月に最終補正予算と令和7年度当初予算の審議を行うこととした。続いて監査が実施され、令和5年度事業報告、決算について諸帳簿・証拠書類等の確認を行いすべて承認された。



第1回監事会・監査

8月5日（月）には、第1回理事会が開催された。議事では令和5年度の事業報告及び決算、業務執行状況等が審議され、承認された。議事終了後は大分県農林水産部安東審議監、大分県農地計画課森迫課長より農業農村整備事業についての諸報告が行われた。



第1回理事会

●大分ため池技術研究会が総会・研修会を開催

平成29年に設立された「大分ため池技術研究会」は、7月30日（火）に総会および研修会を開催した。同研究会は、大分県内におけるため池関連の農業土木技術者の育成を主な目的として活動している。

総会の冒頭では、研究会副会長である本会義経会長が挨拶し、設立当初の趣旨である「大分県の産官学が一体となり、より多くのため池技術者を育成すること」の重要性を改めて強調した。また、昨年度に設立された施工部会の報告があり、8月2日（金）に県との初の意見交換会が予定されていることが発表された。この会合を通じ、現場における課題解決に役立てたいという期待が述べられた。さらに、研究会会長である九州大学の大坪名誉教授は、「ため池に関する技術的課題や要望は多岐にわたるため、年間を通じて会員の意見を吸い上げ、技術講演会や現場研修会を通じて、会員の業務に貢献できる研究会にしていきたい」との意向を表明し、今後も引き続き会員の協力と支援をお願いした。来賓の森迫県農林水産部農地計画課長は、「ため池工事特措法に基づき、ハード面とソフト面の両方から防災・減災対策を計画的かつ総合的に実施していく方針です。今後とも研究会との密接な連携をお願い申し上げます」とご挨拶された。



大坪名誉教授あいさつ

議事に入り、前年度の事業報告・収支決算、本年度の事業計画・収支予算の議案とともに原案どおり承認された。

続く研修会では、県農地・農村整備課防災班 灘波参事（総括）が「大分県のため池防災・減災対策の現状と課題について」の演題で講演を行った。研究会の会員数は法人：74者、個人：36者、計110者、総会には111名、研修会には127名と会員を含め多くの技術者が出席した。

●令和6年度大分県多面的機能支払推進協議会通常総会を開催

令和6年8月2日（金）土地改良会館において、令和6年度大分県多面的機能支払推進協議会の総会を開催した。

開会にあたり本協議会の会長である大分県土地改良事業団体連合会義経会長より「令和5年度の実績は約24,800ha、令和4年から660ha増えてきている。しかし、面積はずっと伸びる時期もあったが最近は色々な課題があって伸び悩んでいる。パソコンを操作できる事務作業員がいない、役員を引き受けてくれる人たちがいない。また、現場では実際に草刈りや土砂上げなどの活動をする人もいないといった課題がある。こうした課題を少しでも解決するためには、広域化を進めていく必要がある。将来的には広域化をして課題をクリアしていく必要があると考える。また、田んぼダムの取組についても流域治水としてしっかり取り組むべき」と述べられた。

その後、令和5年度事業報告及び収支決算書、規約の改正、令和6年度事業計画及び収支予算案についての各議案が提出され満場一致で承認された。

協議会としても、本年度も事業計画に則り大分県、市町村、改良区等と連携し事業推進並びに本事業の制度についてPRに努めていきたい。



総会の様子



義経協議会長あいさつ

●大分県農業農村整備事業推進協議会協議調整部会が開催される

大分県農業農村整備事業推進協議会（15会員）の会員市町担当課長から構成される協議調整部会（部会長 宇佐市耕地課藤枝課長）は令和6年度1回目の会議を開催した。

会議の冒頭では、藤枝部会長が設立から8年目を迎えた協議調整部会は市町村が抱える地域実情を共有し、課題解決に向けて議論を重ねて一致協力して各種提案要望活動等に繋げていくことが重要でないかと挨拶した。

議事では、国の令和7年度農業農村整備事業関連予算に関連した要望内容が協議され、5項目が承認された他、本年度中に作成される地域計画作成に向けた課題やほ場整備事業の推進での課題等が議論された。

令和6年度土地改良施設維持管理適正化事業説明会を開催

令和6年9月18日（水）に土地改良会館5階大会議室にて「令和6年度土地改良施設維持管理適正化事業説明会」を開催した。

県下の土地改良区の役職員を中心に36名が参加する中、「土地改良区体制強化事業」「土地改良施設維持管理適正化事業」「農業基盤整備資金、担い手育成農地集積資金」の概要と制度の研修を行った。

農業用水を供給する農業水利施設のほとんどは、土地改良区等により維持管理されている。今後、老朽化による機能低下から更新時期を迎える施設が増加することが予想されることから、農業水利施設の適切な管理と効率的な整備補修が一層重要となっており、この土地改良施設維持管理適正化事業の事業拡大に向けた説明会は実りあるものとなった。



説明会の様子



令和6年度農業土木技術研修会及び大分県農村振興技術連盟総会の開催



総会の様子

令和6年8月7日（水）土地改良会館5階大会議室において、令和6年度農業土木技術研修会を開催した。冒頭、大分県農林水産部農地計画課森迫課長より御挨拶をいただいた。

2名の講師をお招きし、御講演をいただいた。はじめに農林水産省農村振興局長を歴任された（一財）食品産業センター理事長 荒川隆氏に、「食料安全保障と食料・農業・農村基本法の改正」と題し御講演いただいた。次に参議院議員 宮崎雅夫氏に、「基本法の改正と今後の土地改良」と題し御講演いただき、多くの出席者が食料・農業・農村をめぐる状況変化、今後の土地改良について見識を深めた。

研修会終了後、令和6年度大分県農村振興技術連盟総会を開催した。来賓として安東正浩大分県農林水産部審議監（農政担当）にご臨席いただき、祝辞が述べられた。議事では、「令和5年度事業報告・収支決算」「大分県農村振興技術連盟規約の一部改正（案）」「役員の変更（案）」「令和6年度事業計画・収支予算（案）」について審議を行い、賛成多数によりいずれも承認された。

● おおいた水土里ネット女性の会 令和6年度総会を開催

おおいた水土里ネット女性の会（会長 杵築市土地改良区 上田真由美）は10月4日（金）土地改良会館大会議室において、義経会長と加藤常務理事を来賓に迎え令和6年度総会を開催した。

義経会長より来賓あいさつをいただき、農業・農村における女性の活躍、土地改良区の役割について再確認し、役員一同、地域農業並びに土地改良区の発展のため、おおいた水土里ネット女性の会の活動に取り組む決意を新たにしました。

総会では、令和5年度事業報告と令和6年度事業計画の議案について審議し全員の承認を得た。また、総会後に多面的機能支払勉強会と複式簿記等意見交換会を行った。多面的機能支払勉強会では大分県職員の谷副主幹を講師として迎え行われた。複式簿記等意見交換会では事前アンケートで募集した各土地改良区の相談内容を基に、大分県土地改良事業団体連合会 会員支援課及び、各土地改良区が実例や気になる点などを交えながら活発な発言を皆さんからいただき諸問題の共有、女性職員間の交流ができた。



来賓あいさつ 義経会長



おおいた水土里ネット女性の会
尾仲副会長あいさつ

● 令和6年度大分県畑地かんがい施設対策推進協議会現地研修会を開催

畑地かんがい施設の水管理等に係る様々な現場の生の声を取り上げ、その課題解決に向けて一致協力して活動することを目的として平成30年に設立した推進協議会（8会員、会長：小山一善・須ノ原土地改良区理事長）が今年で7年目を迎え、10月18日（金）、安心院土地改良区管内で関係者合わせて約30名が参加し開催された。宇佐市安心院地域複合支所2F視聴覚室で小山会長より主催者あいさつ。安心院土地改良区の菅原理事長が開催地あいさつ。宇佐市藤枝耕地課長のあいさつをいただき、安部事務局長より土地改良区の概要説明、宇佐市藤田総括より国営事業の概要説明を行った。質疑応答では、土地改良区運営等に係る共通課題に活発な意見交換が行われた。その後現地研修として、現在、事業実施している国営緊急農地整備再編整備事業駅館川地区の整備途中地区並びに完了地区を国営駅館川農地整備事業所秋島所長より説明を受けた。

今回の研修は、施設管理の先にある、地域農業振興への担い手確保・育成の重要性等を改めて共有する有意義な現地研修となった。



矢津工区醸造用ぶどう団地視察状況



釜ノ口3工区造成中視察状況

令和7年度農業農村整備事業関係予算の概算要求について

8月30日、令和7年度農林水産省概算要求が公表された。農業農村整備事業関係予算は、5,301億円（対前年比118.8%）が要求された。

- 農業農村整備事業においては3,952億円（対前年比118.8%）を要求。食料安全保障の確立と農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算要求としている。
対策のポイントとして、農業の競争力強化や国土強靱化を図るため、スマート農業技術の導入に資する農地の大区画化・汎用化・畑地化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保土管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備等を推進することとしている。
- 農業農村整備関連事業では658億円（同120.1%）、農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備分として691億円（同117.5%）が要求された。
- 日本型直接支払のうち、多面的機能支払交付金は512億円（同105.1%）を要求。

令和7年度概算要求額

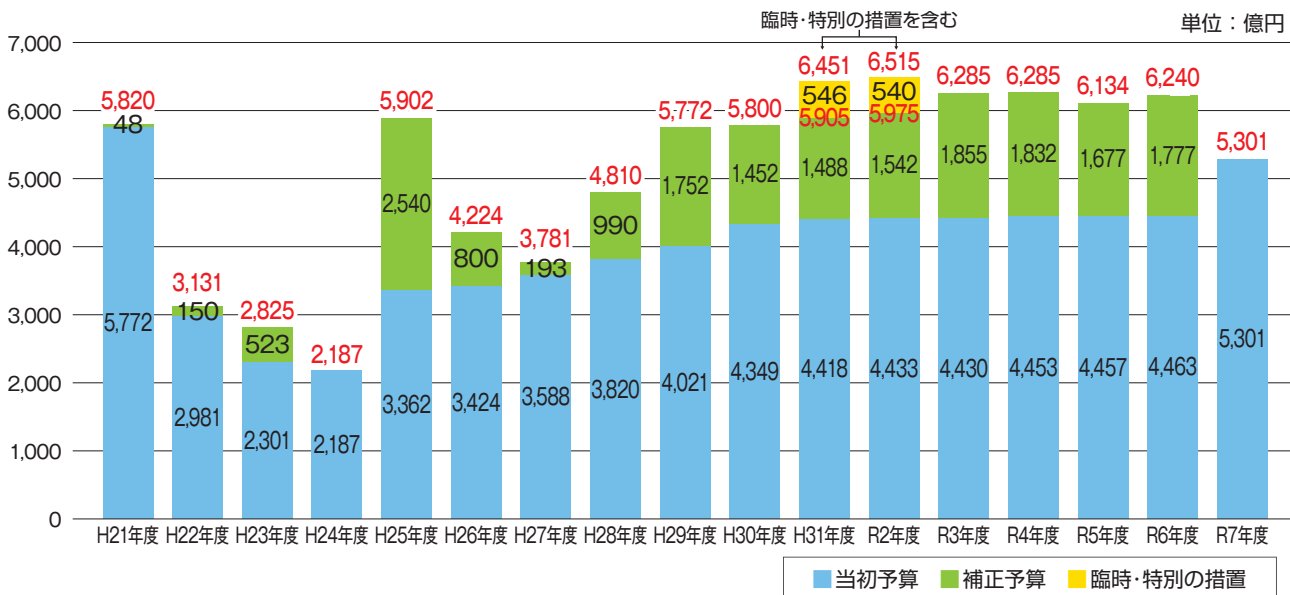
単位：億円

事 項	R6 当初予算額	R7 要求額	前年度比
農業農村整備事業（公共）	3,326	3,952	118.8%
農業農村整備関連事業（非公共）（農地耕作条件改善事業等）	548	658	120.1%
農山漁村地域整備交付金（公共）（農業農村整備分）	588	691	117.5%
合 計	4,463	5,301	118.8%

※計数は四捨五入のため端数において合計とは一致しない場合がある。

当初予算額の推移

単位：億円



詳しくは農林水産省HPをご参照下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/index.html>

タブレットによる現地確認業務

情報管理課では、主に多面的機能支払交付金現地確認業務、中山間直接支払現地確認業務、この二つの業務でタブレットを使用する。

まず、水土里Mapsを取り込んだタブレットを現地に持っていく。水土里Maps上での「ツータッチ機能」を使い簡単に現地調査の結果を書き込むことができる。この機能を使うには現地に向かう前に設定が必要になってくる。

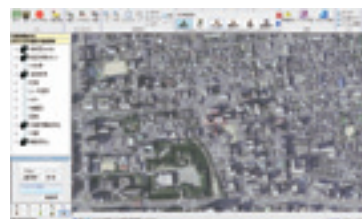
その他にも、「GPS機能」「撮影機能」など様々な機能がある。「GPS機能」では、実際の現在地をリアルタイムで把握することができる。「撮影機能」では、タブレットで撮影した写真を水土里Maps上にその場で取り込むことが可能。それによって、現地調査後の内業で、デジタルカメラ等から写真を取り込む手間が省けるため、大幅に内業時間の削減が可能。

タブレットは様々な機能があることに加え、本来、内業で行う作業が短時間かつ現場で完了するため、現地調査でのタブレット活用は業務の効率化が図れる。

現在の主な使用用途は上にあげた多面的機能支払交付金現地確認業務、中山間直接支払現地確認業務、この二つだが、今後、災害の現地確認やため池の調査など様々な現地調査の場面で活用ができる。



現地調査の様子



GPS機能操作画面

令和6年度土地改良役職員研修会

土地改良役職員研修会では、土地改良区の役員及び職員の方のスキルアップを目的とした研修会となっており、また土地改良区同士のお互いの情報交換の場としてこの研修会を開催することとしました。多くの会員皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

開催日時 令和6年12月4日(水) 13:30～
場 所 別府市「ビーコンプラザ」3階国際会議室
開催内容 講演(農林水産省九州農政局農村振興局 細井部長)
 「土地改良区を巡る最近の情勢について」等

大分県農業・農村多面的機能支払シンポジウム2024

農村の活性化や県内活動組織の取組への意識向上を図るとともに、更なる取組面積の拡大や組織の広域化推進を目的に開催します。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

開催日 令和7年2月6日(木)
場 所 大分市「コンパルホール」文化ホール
開催内容 活動組織による事例発表等

水土里ネット大分のHPIはこちらから
<http://midorinet-oita.or.jp/>



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号(事務局3F)
TEL097-536-6632 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

